

Miraiの森

ミライノモリ

学校生活をより便利にし、
社会で生きる力をつける森村学園の
「ICT教育」



森村学園 中等部
高等部



森村学園同窓会ロゴ

学校生活をより便利にし、 社会で生きる力をつける 森村学園の「ICT教育」

今、ICT環境を整えている学校が多い中、森村学園では機器の導入一つをとっても、「未来志向型教育」の視点で選び抜いたものを採用しています。今号では、本校におけるICT教育が目指すこと、生徒がどのような力をつけることができるのか、私たちのICT教育への想いをお伝えします。



森村学園
中等部・高等部
校長 江川 昭夫



社会での実践をみすえた ICT環境整備

森村学園では、ICT環境の整備を進めています。そのなかでも、昨秋から導入し始めた2in1PC（タブレット端末としてもノートパソコンとしても使えるパソコン）。iPadやChromebookを導入する学校が多い中、森村学園では、Surfaceを採用しています。その大きな理由は、ICT教育を通して社会に出てから通用する技術を身につけてもらいたい、ということです。Surfaceには、タイピングができ、Office系のソフトが習得できるという利点があります。最近では、私生活でもタブレットやスマートフォンが普及し、社会に出るまでにタイピングを学ぶ機会が少なくなっていますが、社会に出ればタイピング技術は必須となり、多くの仕事でOffice系のソフトを扱います。授業でSurfaceを使用する中で、社会で必要とされる能力を自然と身につける、というのが森村学園のICT教育のポイントです。また昨夏には、各教室にWi-Fiアクセスポイントを2つ設置し、スムーズにICTを活用した学習ができる環境を整えました。



「文房具」としての 2in1PC活用

2in1PCを導入するのは、単に授業のツールとして置き換えるためだけではありません。「文房具」として、使ってもらうことが目的です。例えば、学校に関する連絡事項を個人が持っているスマートフォンで閲覧したり、統一されていないルールで利用したりすると、学校生活とプライベートの棲み分けができないという問題点があります。学校生活を送るうえで、生徒にとっても保護者にとっても不安が残る部分ではないでしょうか。「学校専用2in1PC」を導入することは、そういった不安を解消し、日々の連絡事項の共有ツールとして、学校生活をより便利にするという大きな利点があります。



タブレット端末として使用中



ノートパソコンとして使用中





森村学園 ICT教育のこれから

現在は導入段階で、2in1PCは共同で利用していますが、今後は2021年までに全校生徒が所有することを目標に、利用環境を整えていきます。一人一台の2in1PCを持つことで、学習に大きな変化が生まれます。授業前に自ら予習して臨む反転授業や、アクティブラーニングの手法の一つである、ジグソー法（学習者同士が協力し合って進めていく学習方法）でも、2in1PCがあることでより活発な授業が期待できるでしょう。また、現在自習室やパソコン室のPCで受講している駿台サテライト講座は、328講座の授業が受講できます。各自2in1PCを持っていれば、それが自宅で利用できるようになり、いつでもどこでも自学自習が可能になります。

今の子どもたちは、YouTubeやSNSに親しみ、大人よりもはるかに情報を取得する能力が高いといえます。本校では、情報リテラシーを徹底して高め、学校生活や授業でのICT環境の活用を通して、生徒がもっている能力をさらに伸ばし、世界で活躍する人材を育てていきたいと考えています。



森村学園
中等部・高等部
ICT教育推進担当
河合 優次

森村学園のICT教育

主体的で対話的な深い学び
(≒アクティブラーニング)

ジグソー法 反転授業 etc...

授業を通じて身につくスキル



PC操作の基礎スキル
Office系ソフトの習得
タイピングスキルの向上

社会での
活躍力

情報
リテラシーの
向上

ポートフォリオ
の作成

数学の授業での ICT活用をレポート!

この日、2in1PCで行ったのは数学の授業。生徒たちは、事前に共有の2in1PCを使用するうえでの注意事項やルールの説明を受けます。授業中は、タッチペンで楽しそうに書いたり消したり、操作方法の覚えが早く、見事に使いこなします。いざ、「三角形の合同の証明問題」に挑戦。教員からは、「らくがきすると、分かっちゃうぞ〜」との呼びかけが。生徒の進捗は、教員が把握できるようになっています。6人一組の机で互いに操作を教えあいながら、2in1PCを使って黙々と問題を解いていく生徒たち。教員が前に注目させた時は、画面に「先生に注目!」の文字が。また、授業が理解できているかどうか生徒が○×で反応でき、モニターに映し出されるので、理解ができていない生徒も訴えやすく、教員はタイムリーに状況把握ができます。最後に、「使ってみてどうだった?」との教員の質問に、「全部2in1PCでやりたい!」という声が多くあがりました。多くの生徒は楽しんで2in1PCに触れているようです。

タブレットでの
授業にわくわく



ルール説明

問題に挑戦



タッチペンで
答えを記入

「先生に注目!」の
画面に
切り替わった!

ポイントを
解説します



解説

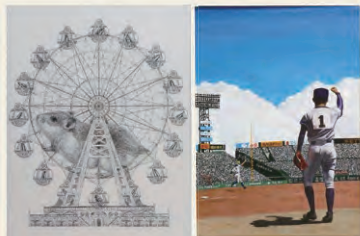
Topics

第69回

学展

3名の生徒が入賞

第69回「学展」の入賞作品が発表され、森村学園の生徒3名が入賞しました。1950年からはじまった本コンクールは、若き才能を発掘するための登竜門として知られるアートコンクール。学生油絵の振興、作品の保存、文化向上への寄与を目的に、毎年開催されています。



観覧車
高等部3年
渡辺 舞衣(左上)
旋風
高等部1年
北岡 由愛(右上)
%
高等部2年
内田 優花(右)



第18回

鎌倉 全国俳句大会

青少年の部に4名入選

俳句文化の発信地、鎌倉で開催された第18回「鎌倉全国俳句大会」で、中等部の大脇里華さんが鎌倉市長賞に入選。そのほか、星野高士先生選、秀逸に中等部のランオースティンさんと瀨瀬啓翔さん、佳作に中等部の大関輝さんが選ばれました。



鎌倉市長賞 風鈴や 令和の音を 響かせて 大脇里華	星野高士先生選 秀逸 少年の目を もつ父の 麦の秋 瀨瀬啓翔
星野高士先生選 秀逸 輝きを 最後に見せる 花火かな ランオースティン	星野高士先生選 佳作 熱帯夜 父と一人の 男部屋 大関輝

東京パラリンピック

射撃代表に 内定

OGが大躍進

OGの水田光夏さんが、東京パラリンピックの射撃代表に内定しました。水田さんは10月にシドニーで行われた「2019年WSPS世界選手権」で10mエアライフル伏射男女混合(SH2クラス)にて、日本障がい者スポーツ射撃連盟の選考規定によって同代表に内定しました。

東京パラリンピックの射撃代表



写真中央水田光夏さん、後ろ左から江川校長、お母様の光美さん、ESS部顧問の渡辺京子先生



森村学園 中等部 高等部

〒226-0026 神奈川県横浜市緑区長津田町2695
TEL 045-984-2505 FAX 045-984-2565
<http://www.morimura.ac.jp>



森村学園の
ホームページ
はこちら

入試関連イベントの
ご予約はこちらから

